

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC220	科目名	障害の基礎理解	担当者名	渡部 誠
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の全体像、障害者福祉に関する諸制度の概要、障害者福祉の基本理念を理解する。</li> <li>・障害の種類とその概要、及び障害者(児)が抱えている生活課題を理解する。</li> <li>・障害者(児)を生活場面で実際に支援するための基礎的な知識を習得する。</li> </ul>				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者(児)の暮らしと生活課題について介護の専門的視点から理解する。</li> <li>・障害の種類や特性を介護実践と関連付けて理解する。</li> <li>・障害者福祉に関する法律や制度を実際の活用を踏まえて理解する。</li> <li>・上記の基礎的理解を通じて障害者支援の実践力を身につけることを科目の到達目標とする。</li> </ul>				
DPの観点	①判断力 ②専門知識・技能 ⑦主体性 ⑩論理的思考力				
授業時間外学修(予習・復習)	新聞等から授業に関連する最新の情報を取得し、学習内容と関連付けられるように事前の準備を進めておく。また、学習の積み残しがないよう、毎回の復習を丁寧に行う。予習・復習はそれぞれ1時間以上行う。				
フィードバックの方法	学びの中の疑問をクラスで共有し、対話を通じて解決しながら授業を進行する。課題等に関しては、その後の学びにつながるよう、助言を付して返却する。出席表のメモ欄をフィードバックと学習支援に活用する。				
単位認定の要件	15回の授業終了後に行う期末試験の成績と、授業中の勉学意欲及び学習態度を単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	期末試験(80%)、勉学意欲及び学習態度(20%)				
履修上の注意事項	授業の進行に沿って適宜伝達する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			【授業概要の説明と障害の概念的理解】 授業の概要を確認し、障害の基礎的な概念を理解する。	①⑦⑩	コミュニケーションカード
2			【社会保障と障害者福祉】 社会保障における障害者福祉の役割と機能を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
3			【障害者福祉の基本理念と制度】 基本となる理念や諸制度及び施策の概要を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
4			【視覚障害者の障害と生活課題】 視覚障害者の障害と生活課題に関する基礎知識を習得する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
5			【聴覚・言語障害者の障害と生活課題】 聴覚・言語障害者の障害と生活課題に関する基礎知識を習得する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
6			【重複障害者の障害と生活課題】 重複障害者について基礎的な知識を習得する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
7			【運動機能障害者の障害と生活課題】 運動機能障害(肢体不自由)者の障害特性を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
8			【内部障害者の障害と生活課題】 内部障害の種類と障害者の生活課題を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
9			【発達障害児(者)及び知的障害児(者)の障害と生活課題】 発達障害及び知的障害について基礎知識を習得する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
10			【精神障害者の障害と生活課題】 精神障害の概要と支援方法に関する基礎知識を習得する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
11			【高次脳機能障害者の障害と生活課題】 脳血管障害や高次脳機能障害について理解を深める。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
12			【重症心身障害者の障害と生活課題】 重症心身障害者の障害と生活課題を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
13			【難病を有する人の生活課題】 難病を有する人の生活課題と施策の動向を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
14			【家族への支援と地域におけるサポート体制】 本人と家族を支援するための諸制度とサポート体制を理解する。	②⑦⑩	コミュニケーションカード
15			【まとめ】 学習した内容を整理して総合的にまとめ、疑問点を解決する。	①②⑩	コミュニケーションカード
期末試験			期末試験を実施する		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座 第13巻 障害の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版
参考文献 参考URL	『自閉症スペクトラム』本田秀夫:BS新書、『跳びはねる思考』東田直樹:イースト・プレスそのほか授業内で適宜提示
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--